

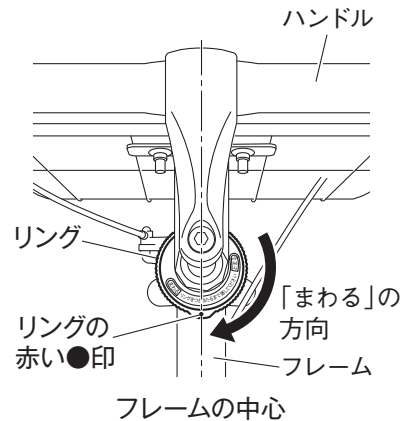
パーキングストッパーの取扱説明書

パーキングストッパーは駐輪時に自転車を安定させるための旋回抑制機構です。完全固定ではなく半固定状態（ハンドルを回そうとしても重たい状態）にする機能です。ご使用前に、この説明書をお読みいただき正しくご使用ください。お読みになった後は大切に保管し、必要に応じてご活用ください。

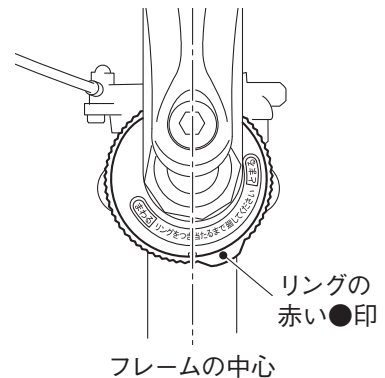
1. 使用上の注意

▲ 警 告

- 乗車の時には、リングを「まわる」の方向（時計方向）につき当たるまで確実に回し、リングの赤い●印がフレーム（車体）の中心と合っている状態で、ハンドルがスムーズに回ることを確認してください。

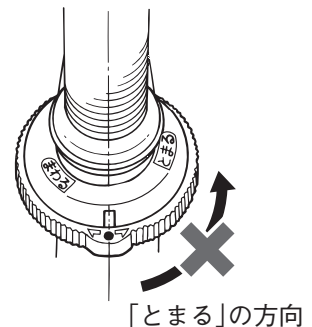


- 乗車のときにリングが「まわる」の方向のつき当たりまで回っておらず、リングの●印がフレームの中心と合っていないと、走行中にハンドルがスムーズに回らなくなることがあり危険です。走行中にハンドルの操作ができなくなり、転倒や事故につながる危険があります。



- 走行中は、絶対にリングを「とまる」の方向に回さないでください。走行中にハンドルの操作ができなくなり、転倒や事故につながる危険があります。

- お子様を乗せることができる自転車の場合は、お子様にリングを絶対に触らせないようにしてください。走行中にハンドルの操作ができなくなったり、駐輪中にハンドルの半固定状態（ハンドルを回そうとしても重たい状態）が解除して、転倒や事故につながる危険があります。

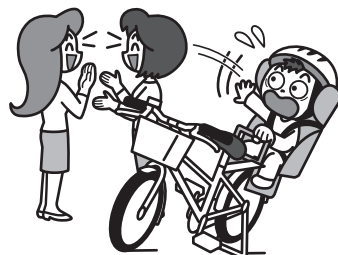


⚠ 警 告

- パーキングストッパーはハンドルの回転を完全に固定するものではありません。パーキングストッパーをかけても、積載する荷物が重かったり、駐輪場所が不安定な場合には、ハンドルが回って、自転車が動いたり、倒れたりするおそれがありますのでご注意ください。

特にお子様を乗せることができる自転車の場合、お子様を自転車に乗せたまま、自転車から離れないでください。自転車が倒れてお子様が地面にぶつかり、けがをする危険があります。

- 地面が平らで安定した場所に駐輪してください。地面が傾いていると、自転車が倒れるおそれがあります。特にお子様を乗せることができる自転車の場合、お子様を乗せ降ろしする場合は、ご注意ください。
- 安定した駐輪のため、ハンドルは前方（直進方向）に向けて駐輪してください。

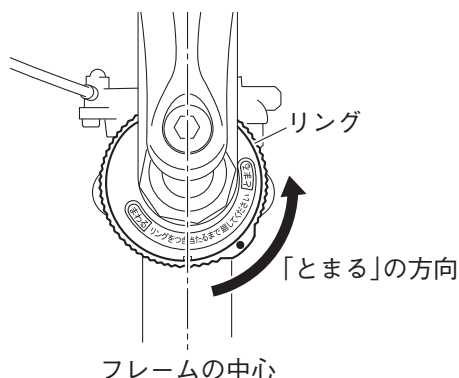


⚠ 注 意

- パーキングストッパーはハンドルの旋回を抑制する機能ですが、完全固定ではなく半固定状態（ハンドルを回そうとしても重たい状態）にする機能です。
- リング操作は充分になれるまで練習してください。不明な点は、お買い上げの販売店にご相談ください。

2. パーキングストッパーのかけかた

- (1) スタンドを立てます。
- (2) ハンドルを直進状態にします。
- (3) リングを「とまる」の方向(反時計方向)に、つき当たるまで回します。
- (4) ハンドルが半固定状態(ハンドルを回そうとしても重たい状態)になっていることを確認します。無理にハンドルを回すと「パチパチッ」と音がしながらハンドルが回ります。



⚠ 警 告

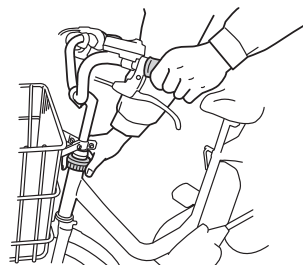
- ハンドルが半固定状態(ハンドルを回そうとしても重たい状態)での走行は大変危険です。走行中にハンドルの操作ができなくなり、転倒や事故につながる危険があります。
- パーキングストッパーはハンドルの回転を完全に固定するものではありません。パーキングストッパーをかけても、荷物の積み方や重さなどの条件によってはハンドルが回り、自転車が動いたり倒れたりすることがありますので、注意してください。不意にハンドルが回って自転車が倒れてきてケガをしたり、自転車が破損したり、荷物が落ちるおそれがあります。
- パーキングストッパー使用中にハンドルを無理に回さないでください。故障の原因となります。

要 点

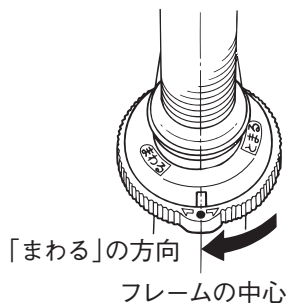
- リングを「とまる」の方向へつき当たるまで回してもハンドルが半固定状態とならないときは、ハンドルを少し動かしながらリングを回してください。
- リングを「とまる」の方向へ回す量が不十分な場合、ハンドルが半固定状態にならなかったり、ハンドルを回したときに半固定状態が解錠される場合があります。パーキングストッパーを使用するときは、しっかりとリングを「とまる」の方向(反時計方向)に、つき当たるまで回してください。

3. パーキングストッパーの解除のしかた

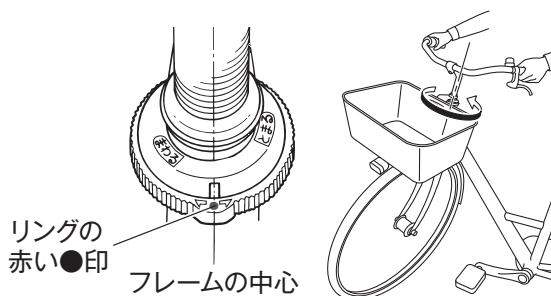
- (1) 片手でハンドルグリップを持って、ハンドルをささえます。



- (2) リングを「まわる」の方向（時計方向）につき当たるまで回します。赤い●印とフレームの中心位置あっていることを確認してください。



- (3) 解除後、リングの赤い●印がフレーム（車体）の中心と合っている状態で、ハンドルがスムーズに回ることを確認します。



⚠ 警 告

- パーキングストッパーを解除する時は、ハンドルが不意に回らないように、ハンドルグリップを手で持っていてください。パーキングストッパーを解除すると、ハンドルが回って手をはさんだり、自転車が動いて倒れるおそれがあります。
- 走行する時は、リングを「まわる」の方向（時計方向）につき当たるまで回して、必ずパーキングストッパーを解除してください。また、赤い●印とフレームの中心位置あっていることを確認し、ハンドルがスムーズに回ることを確認してください。走行中にハンドルの操作ができなくなり、転倒や事故につながる危険があります。

